

平成29年度教育事業  
自然の家 プログラム体験会

1. ねらい

- ・ 自然の家の利用経験があまりない先生方が利用方法を知る。
- ・ 学校の目的に適したプログラムの企画・立案・運営方法を学ぶ。
- ・ プログラム体験を通して適切かつ効果的に指導する力を培う。

2. 実施日

4月8日(土) 9:30~17:00

3. 対象者

国立曽爾青少年自然の家を利用する小学校・中学校教員

4. 参加者 / 募集定員

19名 / 30名程度

5. プログラム(要約)

自然体験活動の経験や、自然の家の利用経験があまりない先生方が、学校利用で来所する際、自信を持って指導に当たれるよう、自然の家職員が施設の利用方法について説明するとともに、職員の指導により事前にプログラム体験をすることで、より学校のねらいに沿った効果的な活動が行えるようプログラムを展開した。

<チキンカレー作り>



安全指導や準備・片付けといった実務的な内容だけでなく、「なぜ子どもたちに、野外炊事に取り組ませるのか」といった、野外炊事の本質に触れながら、研修プログラムを進めた。薪割り、火起こしも初めてという先生方もおり、火が付いた時には、子どもたちと同じように、満面の笑みで喜びを表していた。

<晴天プログラム>



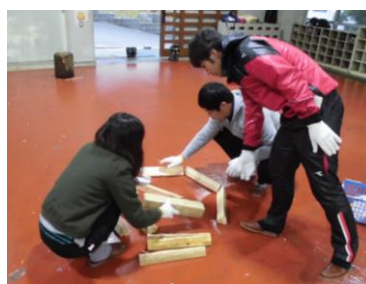
「亀山ハイキング」では、滑りやすい岩場や階段を歩く際の注意点や、少雨の際の、自然観察のポイント等についても触れながら実施した。参加者からは「小雨ぐらいなら、十

分実施できることが分かった。勇気をもって挑戦させたい」「実施後、体が濡れてしまうので、すぐ入浴できるとありがたい」等の感想が寄せられた。

<雨天プログラム>

「自然発見オリエンテーリング」や「そにとピンゴ」、「木のコースター作り」を実施した。雨プログラムとして実施することが多いが、事前に先生方が体験されることが少ない。それだけに、本体験会での経験は貴重であった。また、「イニシアチブゲーム」では、曽爾に来た時だけではなく、普段の学級活動の中でも取り組める活動、特に新年度の新しいクラス作りに活用したい内容が含まれており、参加者から好評であった。

<キャンプファイアー>



「キャンプファイアー」では薪組と本番の進め方について研修プログラムを進めた。基本的な薪組の仕方とキャンプファイアーで大切にしたい点等について体験していただきながら、研修プログラムを進めた。

5. まとめ

参加者からは、「6月初旬に実際に児童を引率するにあたって、実際に体験することができ大変良かった」「忙しい年度初めでの実施であったが、学年の担当が確定してからであったことが、とても良かった」「特別支援の担当として、注意すべき点も教えていただき、参考になった」との感想をいただいた。今後、学校現場のニーズをさらに取り入れながら、より充実した事業としていきたい。

(主任企画指導専門職 伊藤博之)

体験会のスケジュール

		活動内容		
共通プログラム		受付、挨拶、日程説明		
		野外炊事体験 「チキンカレー」作り		
		施設見学、食堂の使い方		
選択プログラム		①	②	③
	晴天	亀山ハイキング	フォトテーリング オリエンテーリング	コースター作り
	雨天	自然発見オリエンテーリング そにとピンゴ	イニシアチブゲーム (仲間づくりに役立つ活動)	コースター作り
		休憩		
	晴天	キャンプファイアー	プログラムの組み方、考え方	カブラドミノ
	雨天	キャンドルファイアー	プログラムの組み方、考え方	カブラドミノ
	閉会式、アンケート記入			
	解散			